

# 分野連携企画報告書

## 行事（企画）名

Dynamics and Design Conference 2024 (D&D 2024)

- ・合同セッション「交通・物流機械のダイナミクス」
- ・パネルディスカッション「交通・物流システムにおける接触・抵抗問題とその関連技術」

行事URL <https://pub.conf.it.atlas.jp/ja/event/dmconf24/content/OSlist>  
[https://conf.it-sfs.atlas.jp/customer/dmconf24/events/DD2024\\_SS4.pdf](https://conf.it-sfs.atlas.jp/customer/dmconf24/events/DD2024_SS4.pdf)

1.開催日・会場 合同セッション：2024年9月6日 神奈川大学みなとみらいキャンパス  
パネルディスカッション：2024年9月5日 神奈川大学みなとみらいキャンパス

3.企画内容 例年、D&Dでは交通・物流機械に適用可能な研究や開発に関する講演、TRANSLOGでは車両等の運動と制御に関する講演が実施されている。本企画では、基盤となる研究開発とその応用、シーズとニーズを円滑に繋ぐため、D&D2024及びTRANSLOG2024に両部門の合同セッションとパネルディスカッションを開催するとともに、意見交換の場を設けることで、部門間の連携強化を図る。合同セッションは2021年から開催され、2023年はパネルディスカッションも開催されるなど一定の成果を収めているが、より多くの聴講者を獲得するという課題もあるため、今年度は周知方法を改善しながら継続して開催することで、さらに理解、交流を深める。

4.連携の成果 合同セッションでは、12件の講演（鉄道7件、自動車2件、昇降機1件、その他2件）が2つのサブセッションに分けて実施され、聴講者は延べ約80名であった。また、パネルディスカッションでは、企画者によるイントロダクションの他、交通・物流部門の自動車・鉄道・船舶・昇降機・航空宇宙の各技術委員会の専門家から「接触・抵抗問題」をテーマにした講演を実施するとともに総合討論を行った。聴講者は約20名であった。パネルディスカッションに参加した一部の講演者と交通・物流部門長が翌日の合同セッションにも聴講者として出席して、交通・物流部門の専門家として議論に参加した。合同セッションでは、大学教員や企業の技術者等による活発な質疑応答が行われ、両部門の連携が一層促進された。

## 2.企画部門 機械力学・計測制御部門 交通・物流部門

5.今後の課題（苦労した点、課題点、他の企画へのアドバイス等）  
合同セッションでは多くの聴講者数を得ることができたが、パネルディスカッションの聴講者数はやや低調となった。この要因として、合同セッションと異なる日程での開催になった点や、企画の認知度が十分ではなかった点等が挙げられる。そのため、今後は日程の設定を工夫するとともに、アナウンスに工夫が必要と考える。また、パネルディスカッションの企画が認知されるにはアナウンス方法の他に時間も必要と考えられることから、今後も少しずつ講演内容を変えながら継続することが重要と考える。  
パネルディスカッションは、他の分野連携企画である連続ショートレクチャーと続けて開催することで、聴講者へのさらなる理解の促進を図った。この開催形態は一定の効果があったものと考えられる。しかし、片方の企画のみの聴講者も一定数いたことから、聴講者を繋ぎとめるための対策が今後の課題である。  
合同セッションでは、鉄道分野からの発表が過半数を占める結果となった。交通・物流部門との分野連携の観点からすると、他の分野からの講演数を増やすことが望まれる。この点については、パネルディスカッションの講演者を含めてD&Dに初めて参加した講演者・聴講者が一定数いたことから、今後も引き続きこれらの企画を開催することで徐々に改善するものと考えられる。また、交通・物流部門の各技術委員会等で委員へ参加を積極的に促すことも効果的だと考えられる。